

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 バーチャレクス・コンサルティング株式会社  
 コード番号 6193 URL <http://www.virtualex.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 丸山 栄樹  
 (氏名) 黒田 勝

TEL 03-3578-5300

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	931	—	51	—	49	—	33	—
28年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 33百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	12.12	11.93
28年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は第1四半期の業績開示を平成29年3月期から行っているため、平成28年3月期第1四半期の業績、対前年同四半期増減率及び平成29年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	1,356	—	823	—	—	48.7
28年3月期	1,375	—	669	—	—	60.7

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 823百万円 28年3月期 669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,900	△4.6	81	△39.4	80	△38.0	48	△40.9	17.30
通期	4,231	9.5	353	37.2	350	39.6	229	△9.7	80.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3の「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	2,865,000 株	28年3月期	2,745,000 株
29年3月期1Q	— 株	28年3月期	— 株
29年3月期1Q	2,756,868 株	28年3月期1Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方、個人消費の回復は弱く、中国やアジア新興国、資源国等の景気減速や急激な円高の進行による輸出環境の悪化、英国のEU離脱問題に伴う世界経済への影響も懸念され、米国大統領選の行方や中東の情勢不安など、先行きに対して不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループはクライアント企業がより戦略的で有効な顧客接点（チャンネル）を構築し、企業価値を最大化しうる顧客対応が実現できるよう当社の持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってきました。

また、当第1四半期連結累計期間においては、東証マザーズ上場に伴う各費用等の発生に伴い、販売費及び一般管理費の一時的な支出が発生しました。

その結果、当1四半期連結累計期間の業績は、売上高931,690千円、営業利益51,580千円、経常利益49,771千円、親会社株主に帰属する四半期純利益33,413千円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業では、ストックビジネスであるCRM ITサービスは堅調に推移し、コンサルティングサービスは着実に新規案件を獲得するとともにプロジェクト採算性の向上に努めてきました。その結果売上高は397,678千円、セグメント利益は137,870千円となりました。

アウトソーシング事業では、既存顧客案件が堅調に推移し売上高は534,012千円、セグメント利益は96,722千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ18,915千円減少し、1,356,595千円となりました。これは主に、開発事業未収入金が69,637千円増加したものの、売掛金が35,268千円、現金及び預金が30,603千円、ソフトウェアが23,211千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ172,343千円減少し、533,430千円となりました。これは主に短期借入金100,000千円、賞与引当金が62,640千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益33,413千円を計上したことに伴い、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ33,413千円増加し、マザーズ市場上場に伴う公募増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ60,168千円増加したことから、823,164千円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年6月23日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益へは影響ありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	252,648	222,045
売掛金	471,850	436,582
開発事業未収入金	40,953	110,590
仕掛品	12,729	5,149
前払費用	27,543	27,696
繰延税金資産	109,104	109,104
その他	2,791	3,794
流動資産合計	917,621	914,962
固定資産		
有形固定資産	82,060	76,952
無形固定資産		
ソフトウェア	261,486	238,274
その他	3,820	14,175
無形固定資産合計	265,307	252,450
投資その他の資産	110,521	112,229
固定資産合計	457,889	441,632
資産合計	1,375,511	1,356,595
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27,294	27,210
短期借入金	100,000	—
1年内返済予定の長期借入金	33,336	33,336
未払金	227,279	222,205
未払法人税等	54,076	22,388
賞与引当金	106,995	44,355
その他	109,905	148,516
流動負債合計	658,887	498,011
固定負債		
長期借入金	41,662	33,328
その他	5,224	2,090
固定負債合計	46,886	35,418
負債合計	705,774	533,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	493,783	553,951
資本剰余金	454,776	514,944
利益剰余金	△279,451	△246,038
株主資本合計	669,107	822,857
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	628	307
その他の包括利益累計額合計	628	307
純資産合計	669,736	823,164
負債純資産合計	1,375,511	1,356,595

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	931,690
売上原価	687,947
売上総利益	243,743
販売費及び一般管理費	192,162
営業利益	51,580
営業外費用	
支払利息	527
株式交付費	781
支払手数料	500
営業外費用合計	1,809
経常利益	49,771
税金等調整前四半期純利益	49,771
法人税等	16,357
四半期純利益	33,413
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,413



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	33,413
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△321
その他の包括利益合計	△321
四半期包括利益	33,091
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	33,091
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年6月23日付で、東京証券取引所マザーズ市場に上場した際に120,000株の公募増資を実施いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ60,168千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が553,951千円、資本剰余金が514,944千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	397,678	534,012	931,690	931,690
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	397,678	534,012	931,690	931,690
セグメント利益	137,870	96,722	234,593	234,593

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	234,593
全社費用（注）	183,012
四半期連結損益計算書の営業利益	51,580

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。